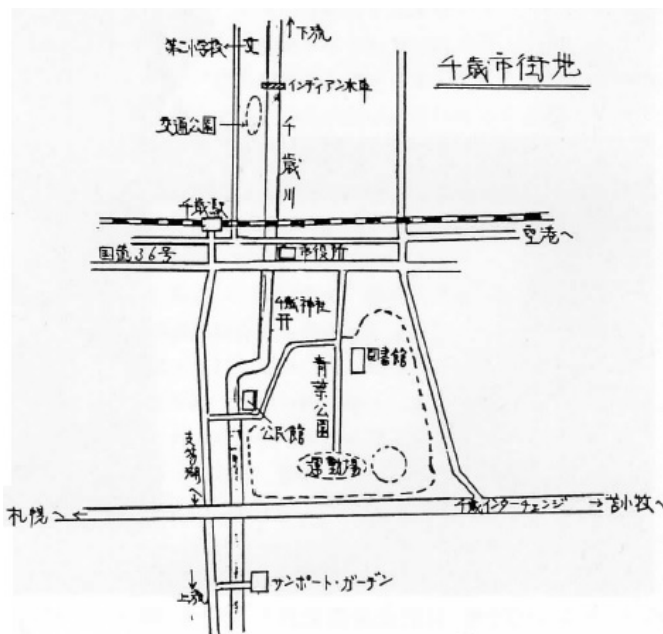


私の探鳥地（12）（野鳥だより 77号 1989年9月）

千歳市街地

遠藤 茂

私の住居より、車で20分～30分のところに、支笏湖野鳥の森・ウトナイ湖・恵庭公園・北大苫小牧演習林・北広島町レクリエーションの森・長都原野・千歳市ふ化場等多くの探鳥地があるが、常に出かけるのは、5分ほどでいける千歳市青葉公園を中心とした、千歳市の中央を流れる千歳川岸である。



千歳市街地

下流は、千歳市立第二小学校から上流はサンポート・ガーデンまでが、私のホームグラウンドである。青葉公園は、近年野球場・テニスコート・陸上競技場・キャンプ場等ができ、野鳥の生息地としては必ずしも好適な場所ではないが、まだ樹木も多く大木も残っており、特に千歳神社の宮司さんが愛鳥家で境内にバードテーブルを設置されており、多くの野鳥たちの憩いの場として活用されている。

神社境内には、アカゲラ、コゲラ・シジュウカラ・ハシブトガラ・ヤマガラ・ゴジュウカラ・エナガ・シメ・キクイタダキ等一年中観察できる。

時々エゾリスとキタキツネが、子連れであらわれ、私たちを観察している。

神社の境内を通過して、公民館の裏から、千歳川を右手眼下に見ながら進むと、クロツグミ・トラツグミ・ヒヨドリ・アカハラ・コムクドリ・ヤブサメ・カワヒラハワ・キビタキ・オオルリも多く見かけるようになる。

更に進めば、春の渡りの時期にノビタキ・エゾビタキを見ることもある。

奥に進んで高速道路近辺には、ウグイスやメジロ・イカル・キジバト・エゾライチョウ・

アオジがよく現れる。

森の奥からは、カッコウ・ツツドリ・アオバトの声が聞こえて来る。また夜にはアオバズクの声も聞くことができるのはこの辺である。

夕方にかけてカラスの大群を観察するには、図書館の裏が一番である。

晩秋から冬にかけて、ほぼ同じコースを歩けば、キレンジャク・ヒレンジャク・ツグミ・アトリ・ヤマゲラ・オオアカゲラ・カケスを観察でき、時には、ミヤマホオジロ・マヒワ・ウソを見ることが出来る。

第二小学校よりインディアン水車周辺までの千歳川には、オオハクチョウ・キンクロハジロ・ホオジロガモ等の水鳥を時々見かける。又この近くにある交通公園内ではコウライキジが歩いているのを観察することがある。

千歳川の鉄橋をこえて市の中心である市役所裏に至るとイワツバメを見ることが出来る。時にはミンクが土管から顔を出して、飛行して来るジェット機をうるさそうに眺めている。

11月下旬からは、ナナカマドやオンコの樹が多いので日中でもツグミ・ヒレンジャク・キレンジャク・ヒヨドリを観察して、レストランで昼食をして帰宅する事が多くなる。

市役所より上流の神社周辺及びサンポート・ガーデンにかけては、キセキレイ・カワセミ、それから千歳市の鳥であるヤマセミにお目にかかる。

またカワガラスがあらわれて、水中にもぐるのを見ることが出来る。

コガモ・マガモがのんびりと川のよどみで、遊んでいるのもこの辺である。

秋には、インディアン水車で一度捕獲したサケを力強い良い卵を取るためふ化場まで、そ上させるために放流したサケを観察できるのも、こま辺が一番良いところである。

運がよければアカショウビンを、冬には、オジロワシ・オオワシも出現するので観察できる。